

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社クリーンシステム

山形市にある株式会社クリーンシステムの石川渉太さん取材しました！

石川さんは山形大学工学部を卒業した後、2018年に入社しました。

現在は生産事業本部生産部生産管理課で勤務しています。

(1) 仕事内容編



——現在の仕事内容を教えてください。

私が所属している生産管理課は、工場のライン管理を主として、多岐にわたる業務をしています。私は、エコアクション21を管理しています。これは会社が環境に配慮していることを対外的に示す、環境省が普及推進している環境マネジメントシステムの一つです。環境省のガイドラインに沿って、外部監査への対応、CO2の排出量、水の使用量、会社から出る廃棄物等の管理や、法令関係の対応を担当しています。



———**廃棄物の種類にはどのようなものがありますか。**

法律上、廃棄物は産業廃棄物と一般廃棄物に区別されており、当社では主に工場や建設現場などから出る産業廃棄物を扱います。プラスチックやコンクリート、木材の搬入が多いです。

———**入社時はどんな仕事をしていましたか。**

企画部で、許可申請関係の管理を担当しました。産業廃棄物処理をするためには行政の許可が必要になり、基準を満たすためのチェックや、内部での勉強会を行う部署でした。それを4年間担当した後に、異動希望を提出して今の部署に移りました。

———**工学部出身ですが、大学でどんなことを学んでいましたか。**

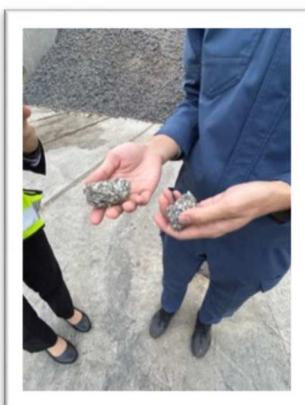
工学部バイオ化学科で、簡単にいうとゲル化のプロセスなどを研究していました。

———**大学で学んだことはどのような面で活かせていますか。**

廃棄物と一括りにいってもいろいろな成分が含まれていて、それを調べておかないと、燃やしたときに設備が傷んでしまうこともあります。廃棄物を扱ううえで化学の基礎的な知識も必要になりますので、大学での勉強は今の仕事にも役に立っています。

——産業廃棄物処理だけでなく、IT に関する事業もしているのですね。

IT システム課が中心となり、ペーパーレスを加速するための社内情報共有システム整備を皮切りに、承認申請、データ分析等様々な業務のデジタル化を推進しています。これまで得たノウハウを活かし、同業他社の「ICT 化のはじめの一步」を後押しするお手伝いを事業として展開し、徐々に実績を挙げております。



(2) 職場編

——入社を決めたきっかけは何ですか？



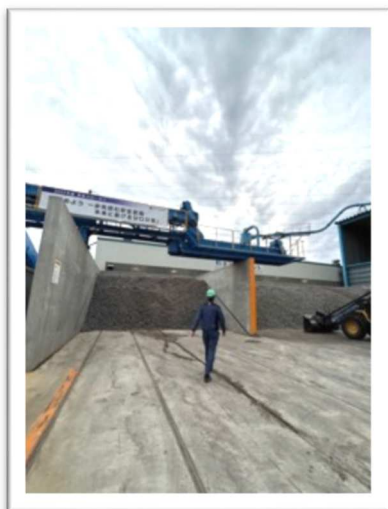
私は生まれも育ちも山形で、県内での就職を希望していて、実家から通える会社を探していました。廃棄物処理の業界は、小学生のときに見学した清掃工場の印象が強かったのですが、当社の工場はすごく綺麗で、興味を持ちました。

SDGs が話題になっていますが、当社はいろいろなものが最終的に行き着く場所を作る会社ですので、環境に配慮する仕事は、今後もなくなることはないと思い、就職を決めました。

——就職で一番大切にしていたことはなんですか？

会社の雰囲気と、お給料ですね（笑）。

——会社の雰囲気は実際に入社してみていかがでしたか？



思った以上に、和気あいあいとしていると感じました。もちろん厳しい時は厳しく、メリハリがあっていい環境だと思います。

上司にも質問や意見を言いやすい雰囲気がありますし、風通しのいい職場だと思います。

——入社後の研修ではどんなことをしましたか？

まずは安全に関する教育です。解体や工場では危険が付き物ですので、安全教育はしっかりやります。その後は、配属先によって研修スケジュールも変わってきますが、私の場合は現場研修として、混合廃棄物を手作業で選別するチームに入りました。

選別場所には本当にいろいろなものが流れてきます。リサイクルできる、できないが決まる大事な作業ですが、選別はとても大変だと思いました。生産管理担当として、研修を通じて現場の大変さを知り、サポートしていきたいと思いました。

——クリーンシステムの魅力を一言でお願いします。

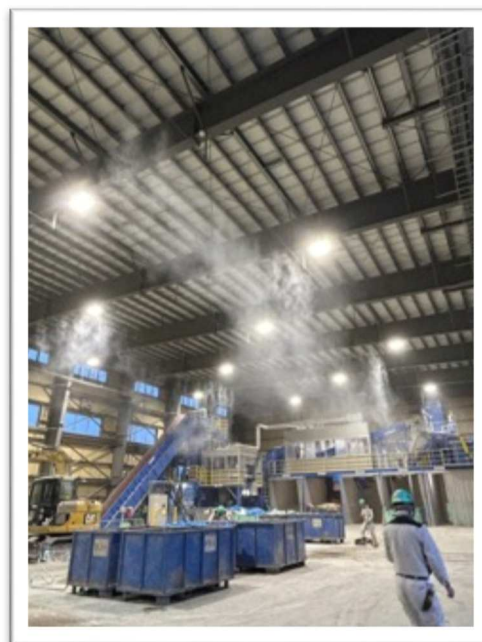
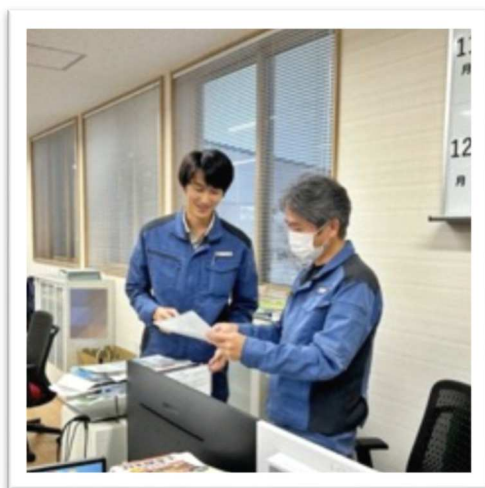
中小企業ということもあり、若いうちから責任のある仕事を任せてもらえます。廃棄物処理業界は、おそらく一生なくなることがありませんので、将来的にも安定していると思います。この業界は普段あまり目に付くことはないかもしれませんが、ぜひ関心をもってもらいたいと思います。



——入社して成長したと思うことはありますか？

今の担当業務の他にも、責任ある立場として新規事業にも携わることがあります。新しい業務を進めるためにどのような手続きを踏まなければならないのか、挑戦するためには何をしなければいけないのか、といった点を、身をもって学んでいます。

例えば、苗木に関する新事業を担当していたときは、行政や関連団体との調整や、法律への対応などをしなければなりません。予期せぬ問題が起こることもあり、新しい業務を進めるための重要なことを学びました。



(3) ある日の過ごし方編

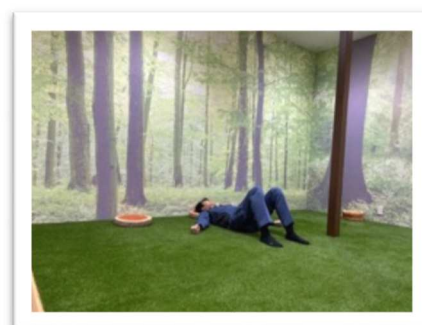
●8:00 【始業】

全員でラジオ体操をして、朝礼で1日の予定を確認します。



●8:10 【業務開始】

電気や燃料の使用量を集計し、報告用の資料を作成します。最終的に外部にも提出するデータになるため、間違いのないよう確認をします。



●12:00 【お昼休憩】

従業員用の休憩スペースで、昼食を食べます。
オシャレなカフェのような空間で、とてもリラックスできます。

●13:00 【お客様の現地確認の対応】

廃棄物を排出する企業には、処理施設が適切に廃棄物を処理していることを確認することが求められています。そのため、定期的に現地確認の依頼があり、場内案内や書類確認の対応をします。



●15:00 【会議資料の作成】

午前中に集計したデータをもとに会議資料を作成します。

●17：15【終礼】

翌日の予定を確認します。

●17：30【退勤】

退勤後は早めに帰り、育児をしています。



※1年単位の変形労働時間制をとっており、3～10月は8：00～17：30、11～2月は8：00～17：00が勤務時間となります。

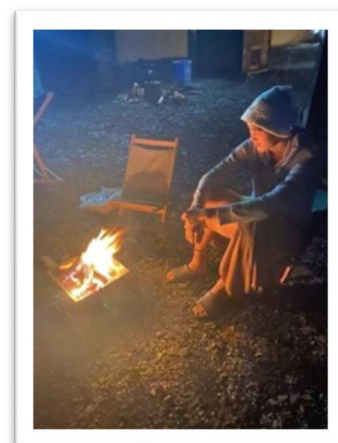
(4) むらやまでの暮らし編

——山形以外での就職は考えませんでしたか。

実家から通える距離がいいと思っていました。大学の頃は関東に遊びに行くこともありましたが、自然のある場所で育ってきた自分にとって、人混みや渋滞がどうしてもダメで、住み慣れた山形での就職を決めていました。

——ズバリ山形のいいところはなんですか？

食べ物が美味しいところです！そばが一番好きです。



——山形で大変なこととして雪がありますが、対策はしていますか。

正直、もう慣れていきます（笑）。慣れると意外とそこまで大変ではないです。

当社の駐車場には無散水融雪システムが設備されていて、地下水によって雪が溶けるようになっています。入社したら雪がない状態になっていて、雪かきがいらないのですごく便利です。

——休日の過ごし方を教えてください。

最近、育児ですね。子どもと過ごす時間が増えました。子どもが生まれる前は、週1でサウナに行ってリフレッシュするという楽しみがありました。



(5) まとめ編



——今後の目標を教えてください。

企画部では、許可申請など対外的な業務は一通りやってきたのですが、逆に内部のことはあまり詳しくありませんでした。そのため、部署異動を申し出て生産管理課に移ったこともあり、これからは内部的な業務にも挑戦してレベルアップし、会社に貢献していきたいです。

——これから就職活動をする学生にメッセージをお願いします。

私は就職活動を始めるのが遅かったのですが、それではいろいろな企業を見る機会が減ってしまいますので、早めに就活をすることが重要だと思います。

また、一つの業界にとらわれずに見ていくことも大事です。例えば、製造業に興味があったとしても、モノの流れを追っていくと、我々の業界を含め、様々な業界や企業が関わっていることがわかってくるとと思います。それをふまえていろいろな企業を見ると、自分に合った企業が見つかると思います。

——ありがとうございました！

クリーンシステムは産業廃棄物を収集する会社だと認識していましたが、企業訪問をすると、環境に対して様々な挑戦をしている会社だと知りました。自分の想像以上にいろいろな事業をしていたのでとても驚き、感動しました。社内の雰囲気もよく、社屋もとても綺麗で、働きやすい環境がしっかりと整備されていたのも、印象的でした。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 和田大志 成澤亜衣 雅楽川龍成】

株式会社クリーンシステム

★やまがたスマイル企業認定、SBT 認定、山形県環境保全推進賞受賞、きらやか産業賞受賞

- ・所在地 山形県山形市飯塚町字中河原 1629-5
 - ・設立 昭和 53 年 2 月
 - ・従業員数 126 名（男性 105 名、女性 21 名）
 - ・事業内容 廃棄物リサイクル事業、リサイクル型解体事業、廃棄物収集運搬事業、
環境コンサルタント事業、PCB 調査・処理支援事業、石綿（アスベスト）調査
事業、IT 構築・運用支援事業
 - ・URL <https://www.csyam.com/>
-